

# がん研究所・共同研究特別セミナー

演者： 青木 正博 先生

京都大学 医学研究科  
遺伝薬理学研究室 准教授

演題： 腸管の腫瘍形成における Smoothened と  
mTORC1 の役割

日時： 11月16日(月) 午後4:30 - 6:00

場所： がん研究所 会議室(1階)

青木正博先生は、Peter Vogt 博士の研究室で PI-3K/Akt を中心に癌の分子生物学研究に従事し、現在は、腸管腫瘍発生の分子機序の研究を進めています。また、金沢大学がん研究所との共同研究プロジェクトも推進されています。最近、Apc 遺伝子ノックアウトマウスに発生する腸管腫瘍で、Hedgehog 経路のシグナル分子 Smoothened が高発現すること、および mTORC1 経路が活性化されていることを発見しました。これらと $\beta$ -catenin 依存的な Wnt 経路活性化との関係、腫瘍形成への寄与についてセミナーして頂く予定です。

若い研究者・学生の皆さん、ふるってご参加下さい。

後援：金沢大学十全医学会

連絡先：がん研究所 腫瘍遺伝学 大島 正伸(265-2721)